

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	森丘 保典		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1403	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 3 - G（状況把握力・判断力）自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4 - F（探究力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4 - I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 5 - J（創造的挑戦力・達成力）コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 D P 8 - M（省察力）知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C R コード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（20%） G 1 状況把握（40%） I 2 量的分析（10%） I 3 情報分析（10%） J 2 創造的思考（10%） M 1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、精読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定し、共同で研究をすすめることで、互いに知識を修得していくことを目的します。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■ キーワード 研究・省察・コーチング・マネジメント		
授業の趣旨	■ 副題 コーチングやチームマネジメントに関する自身の研究計画を立案し、その計画を他者に伝えるなどのプロセスを通して、研究についての理解を深めましょう。 ■ 授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループでの研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。 ■ 授業のポイント 研究の進め方については、コーチングやチームマネジメントに関する量的・質的な研究手法を用いて学習します。		
総合到達目標	■ スポーツ科学研究のエビデンスを活用しながら諸方策を導き出していく反省的実践家としての能力を涵養するために、コーチング・チームマネジメントに関する量的・質的な研究方法の特徴について理解し、自身の研究テーマの設定および研究計画を立案するための基礎を身につける。 ・ コーチング・チームマネジメントに関する文献を精読し、自身の興味関心に基づいた研究テーマを決定することができる。（第2～6回） ・ 自身の研究テーマに即した研究対象および研究方法を選択し、研究計画を立案することができる。（第7～9回） ・ 自身の研究計画について発表し、他者との議論などを踏まえて適切に修正することができる。（第10～15回）		
成績評価方法	■ リアクションペーパー（50%）：適用ルーブリック G 1・I 2・I 3・J 2 （評価の観点）他者の発表や研究手法の情報に関する内容などについてのリアクションおよび研究計画書の内容について評価します。 （フィードバックの方法）リアクションペーパー提出後に授業内容の振り返りを行います。 ■ プレゼンテーション（50%）：適用ルーブリック F 1・J 2・M 1 （評価の観点）自身もしくはグループの研究計画を発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。		

履修条件	コーチング学原論（SSCS1306）、チームマネジメント論（SSCS2339）を履修していること。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ オリエンテーション ②授業概要 本ゼミナールの概要、授業の進め方と評価および学修を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようになる（G1、I3）。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 授業の全体像や評価、自分の学修計画などについて確認する。
	2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 コーチング学研究法演習で学修した内容について再確認しながら、本ゼミナールの研究領域や主な研究方法について検討する（G1、I3）。 ③予習（120分） コーチング学研究法演習の研究の概要に関する授業資料を読み返し整理する。 ④復習（120分） 自身およびグループでのゼミナールにおける課題に対する適切な研究方法について検討する。
	3	①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 コーチング学に関連する先行研究（論文）を精読し、研究方法、結果および考察の内容について整理する（G1、I2、I3）。 ③予習（120分） 興味関心のある先行研究（論文）を収集・一読する。 ④復習（120分） 本授業で整理した内容を再確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理する。
	4	①授業テーマ 文献研究② ②授業概要 コーチング学に関連する先行研究（論文）を精読し、研究方法、結果および考察の内容について整理する（G1、I2、I3）。 ③予習（120分） 興味関心のある先行研究（論文）を収集・一読する。 ④復習（120分） 本授業で整理した内容を再確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理する。
	5	①授業テーマ 文献研究③ ②授業概要 コーチング学に関連する先行研究（論文）を精読し、研究方法、結果および考察の内容について整理する（G1、I2、I3）。 ③予習（120分） 興味関心のある先行研究（論文）を収集・一読する。 ④復習（120分） 本授業で整理した内容を再確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理する。
	6	①授業テーマ 文献研究④ ②授業概要 コーチング学に関連する先行研究（論文）を精読し、研究方法、結果および考察の内容について整理する（G1、I2、I3）。 ③予習（120分） 興味関心のある先行研究（論文）を収集・一読する。 ④復習（120分） 本授業で整理した内容を再確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理する。
	7	①授業テーマ 研究計画の作成① ②授業概要 文献研究の内容を踏まえて、各自の研究計画に関する議論を行い、研究計画を作成することができる（G1、J2）。 ③予習（120分） 文献研究で整理された内容を参照し、採用すべきと考えられる研究方法について選定する。 ④復習（120分） 授業での議論を踏まえて、研究計画作成に必要な情報を再度収集する。
	8	①授業テーマ 研究計画の作成② ②授業概要 文献研究の内容を踏まえて、各自の研究計画に関する議論を行い、研究計画を作成することができる（G1、J2）。 ③予習（120分） 文献研究で整理された内容を参照し、採用すべきと考えられる研究方法について選定する。 ④復習（120分） 授業での議論を踏まえて、研究計画作成に必要な情報を再度収集する。
	9	①授業テーマ プレゼンテーションの準備①

	②授業概要 作成した研究計画を精査しつつ、資料の作成や発表に向けた準備を行う（F1、J2）。 ③予習（120分） 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料について加筆修正する。 ④復習（120分） 授業での議論を踏まえて、プレゼンテーションに必要な情報を再度整理する。
10	①授業テーマ プレゼンテーションの準備② ②授業概要 作成した研究計画を精査しつつ、資料の作成や発表に向けた準備を行う（F1、J2）。 ③予習（120分） 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料について加筆修正する。 ④復習（120分） 授業での議論を踏まえて、プレゼンテーションに必要な情報を再度整理する。
11	①授業テーマ 研究計画のプレゼンテーション① ②授業概要 作成した研究計画について、プレゼンテーション（発表）を行う（J2、M1）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、研究計画の発表準備をする。 ④復習（120分） 質疑応答の内容等を踏まえて、研究計画について加筆修正を行う。
12	①授業テーマ 研究計画のプレゼンテーション② ②授業概要 作成した研究計画について、プレゼンテーション（発表）を行う（J2、M1）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、研究計画の発表準備をする。 ④復習（120分） 質疑応答の内容等を踏まえて、研究計画について加筆修正を行う。
13	①授業テーマ 研究計画のプレゼンテーション③ ②授業概要 作成した研究計画について、プレゼンテーション（発表）を行う（J2、M1）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、研究計画の発表準備をする。 ④復習（120分） 質疑応答の内容等を踏まえて、研究計画について加筆修正を行う。
14	①授業テーマ 研究計画の再検討 ②授業概要 研究計画のプレゼンテーションでフィードバックされた内容について整理し、研究計画の質を高めるために必要なことについて確認する（J2、M1）。 ③予習（120分） これまでの研究計画における問題点を整理する。 ④復習（120分） 議論内容を踏まえ、再度研究計画を修正する。
15	①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報について整理する（J2、M1）。 ③予習（120分） 本授業を通して収集、精読してきた先行研究（論文）の情報について整理する。 ④復習（120分） ゼミナールⅡに向けて必要な文献情報を整理する。
関連科目	コーチング学研究法演習（SSCS2317）
教科書	特に指定しません。
参考書・参考URL	■松本茂・河野哲也『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』（玉川大学出版部） ■立教大学編『Master of Writing（https://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/fd/qo9edr0000005dbr-att/MasterofWriting.pdf）』 ■立教大学編『Master of Presentation（https://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/fd/qo9edr0000005dbr-att/MoP.pdf）』
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜3限 それ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとればラーニングセンター等で対応します。
研究比率	

